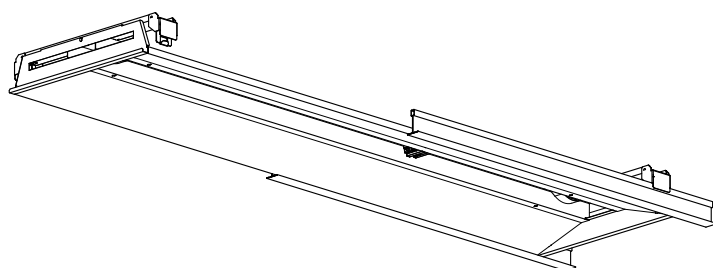




三菱LED照明器具

LEDライトユニット形ベースライト
Myシリーズ 40形 システム天井用
アセンブリタイプ/セパレートタイプ



販売店・工事店様用

お客様用

据付工事説明書 取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして
ありがとうございました。

- お客様ご自身では据付けないでください。
(安全や機能の確保ができません。)
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また
安全を確保するために、据付工事の前・ご使用前
にこの説明書を必ずお読みください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、
国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

もくじ

各部のなまえ	4
据付場所の選定	4
取付方法	5・6・7
据付工事後の確認	7
試運転	7
お客様への説明	7
使用方法	8
お願い	8
お知らせ	8
お手入れ	8
故障かな?と思ったら	8
保証とアフターサービス	8

販売店・工事店さまへ
この説明書は保守のため、お客さまに必ず
お渡しください。

お客さまへ
説明書をお読みになった後は大切に保管し、
必要な時にお役立てください。

- ・適合本体組合せ形名と適合部品形名の（ ）内は適合Tバーを示します。
- ・適合Tバーは各器具の納入仕様書にてご確認ください。
- ・適合ライトユニットは各器具納入仕様書にてご確認ください。
- ・セパレート形名は納入仕様書記載の、適合本体・取付金具にてご確認ください。セパレート形名単体では使用できません。
- ・組合せの特性については、各アセンブリ形名納入仕様書を参照ください。

My シリーズ システム天井用器具 アセンブリ形名

Tバー芯間隔	適合本体組合せ形名	質量 (kg)
120	EL-SY412/1250 (A,B,C,D,E)	1.6
170	EL-SY417/1250 (A,B,C,D,E)	2.0
	EL-SY417/1260 (A,B,C,D,E)	
220	EL-SY422/1248 (A,B,C,D,E)	2.4
	EL-SY422/1250 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY422/1258 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY422/1260 (A,B,C,D,E)	
240	EL-SY424/1248 (A,B,C,D,E)	2.5
	EL-SY424/1250 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY424/1258 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY424/1260 (A,B,C,D,E)	
320	EL-SY432/1240 (A,B,C,D,E)	3.2
	EL-SY432/1244 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY432/1248 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY432/1250 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY432/1255 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY432/1258 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY432/1260 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY432/1270 (A,B,C,D,E)	
	EL-SY432/1298 (A,B,C,D,E)	
EL-SY432/1300 (A,B,C,D,E)		
330	EL-SY433/1248(A,B,C,D,E)	3.3
	EL-SY433/1250(A,B,C,D,E)	
	EL-SY433/1255(A,B,C,D,E)	
	EL-SY433/1258(A,B,C,D,E)	
	EL-SY433/1260(A,B,C,D,E)	
	EL-SY433/1270(A,B,C,D,E)	
	EL-SY433/1280(A,B,C,D,E)	
	EL-SY433/1298(A,B,C,D,E)	
EL-SY433/1300(A,B,C,D,E)		



My シリーズ システム天井用器具 セパレート形名

Tバー芯間隔	適合部品形名	質量 (kg)	
本体	120	EL-XSY412/1250	1.4
	170	EL-XSY417/1250	1.7
	220	EL-XSY422/1250	2.1
		EL-XSY422/1260	
	240	EL-XSY424/1250	2.2
		EL-XSY424/1260	
	320	EL-XSY432/1244	2.8
		EL-XSY432/1250	
		EL-XSY432/1260	
	330	EL-XSY433/1250	2.9
EL-XSY433/1260			
EL-XSY433/1300			
取付金具	120	EL-XTK12 (A,B,C,D,E)	0.2
	170	EL-XTK17 (A,B,C,D,E)	0.3
	220	EL-XTK22 (A,B,C,D,E)	0.3
	240	EL-XTK24 (A,B,C,D,E)	0.4
	320	EL-XTK32 (A,B,C,D,E)	0.4
	330	EL-XTK33 (A,B,C,D,E)	0.4

	形名	質量 (kg)
ワイヤ	EL-XW004	0.1




安全のために必ず守ること




お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ 図記号の意味は次のとおりです。

 禁止	 指示を守る
--	---

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 配線工事、器具取付の際は必ず電源を切る（火災・感電の原因） ● 補強のない天井には取付けない（火災・落下の原因） ● 断熱施工天井に取付けない（火災の原因）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 納入仕様書記載のTバー専用器具です。（指定以外のTバーへの取付けは、落下の原因） ● 電源線を器具の外郭に直接接触させない（過熱して火災の原因） ● 器具取付けの際は電線を挟まない（絶縁不良により感電・火災の原因） ● 配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない（絶縁破壊により感電・火災の原因） ● 電源線・アース線は確実に接続し、端子台の最大送り容量を超えない（火災・感電の原因） ● 引火する危険のある雰囲気〔ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所〕で使用しない（火災の原因） ● 高温〔35℃を超える〕、高湿度〔85%RHを超える〕、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、強い振動・衝撃のある場所で使用しない（落下・感電・火災の原因） ● 狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない（器具が過熱して火災の原因） ● 器具を布や紙などで覆わない（可燃物を被せて使用すると火災の原因） ● 器具の改造や指定部品以外の交換はしない（火災・感電・落下の原因） ● 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない（火災・感電の原因） ● ライトユニットは精密機器のため、取付け・取外しの際は器具本体の◇マーク付近を持ち、ひねらない（感電・落下の原因）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、据付工事説明書に従い行う（施工不備により、火災・落下・感電の原因） ● 必ず当社の専用器具本体とライトユニットとの組合せで使用する（落下・感電・火災の原因）

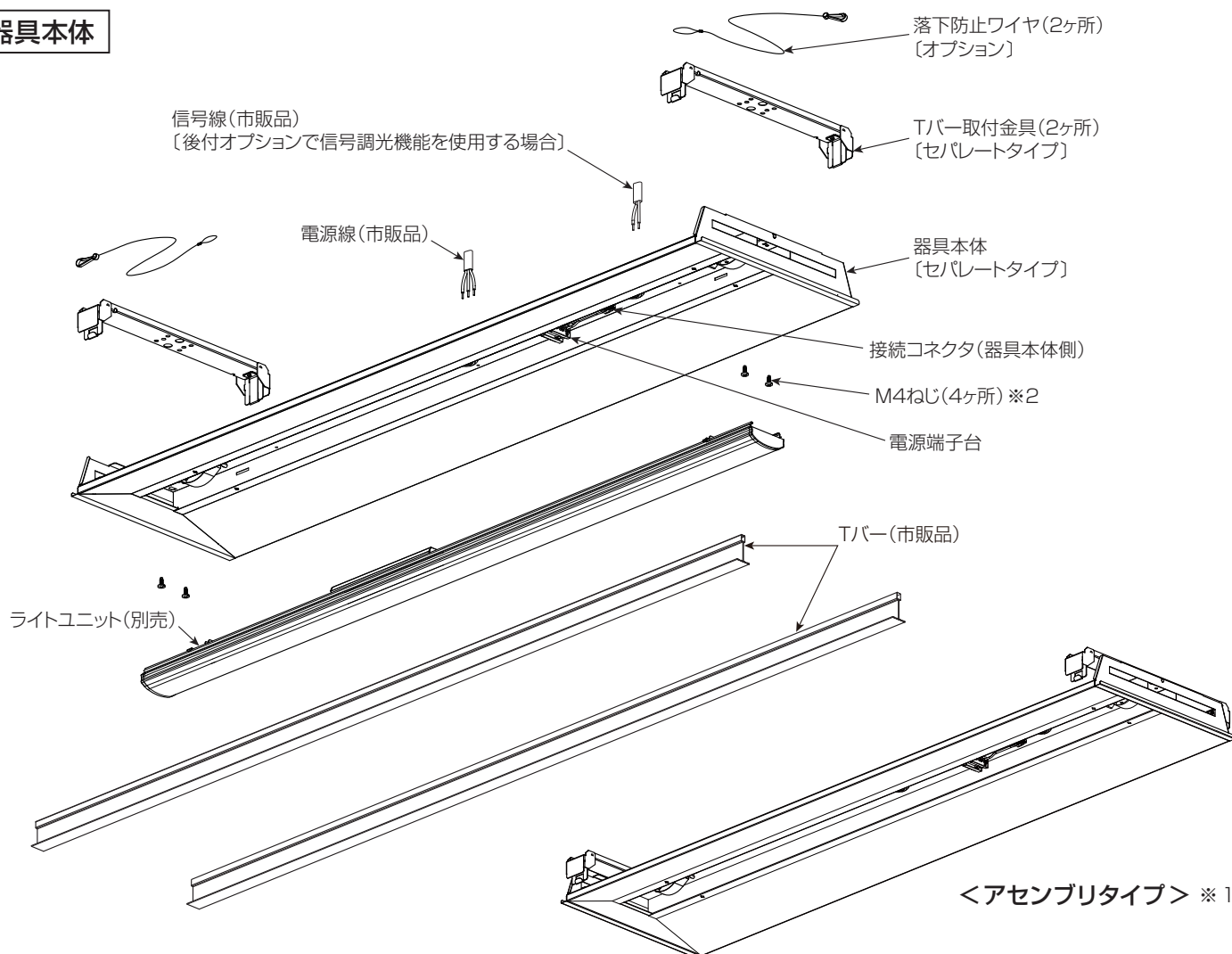
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない（過熱して火災の原因） ● 光を直視しない（長時間直視すると目を痛める原因） ● 納入仕様書の指定箇所・指定方向以外には取付けない（火災・落下の原因）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因） ● 直射日光の当たる場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所で使用しない（劣化による落下の原因） ● 屋外、水や湿気のある場所、軒下・開放型駐車場・ピロティ等の雨線内で使用しない（火災・感電の原因） ● 風が吹く場所で使用しない（落下の原因） ● 表示された電源電圧以外では使用しない（火災・感電の原因） 特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検、3年に1回は工事店等の専門家による点検を行う（点検不備により、火災・落下・感電の原因） ● 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行していますので、点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命がきても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

施工者様へ

以下の各部のなまえ・取付方法等をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

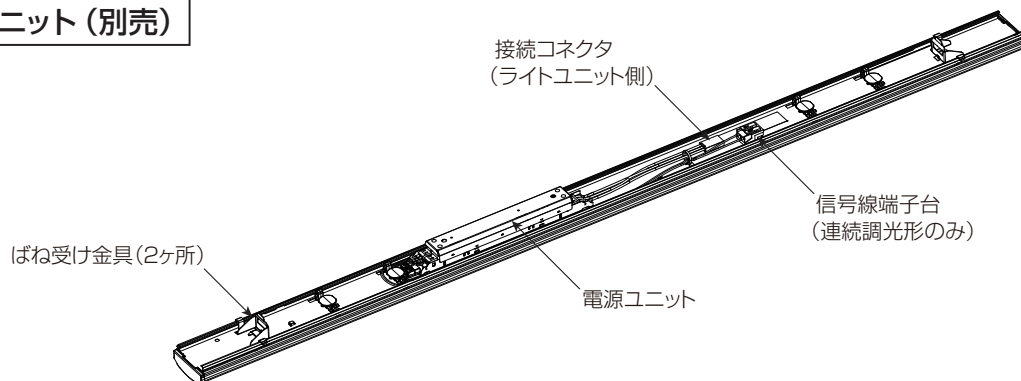
各部のなまえ

器具本体



- ※1：器具本体とTバー取付金具が組付けられた状態をさします。
 ※2：セパレート形名でお買い上げの場合、器具本体側に同梱されてます。

ライトユニット(別売)



据付場所の選定

- ・温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生しない場所
- ・天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな場所
- ・一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在しない場所
- ・その他納入仕様書に記載された事項が守られた場所

取付方法

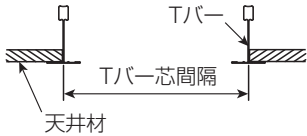
⚠ 警告

施工は、据付工事説明書に従い確実に、ライトユニットの取付け・取外しの際は、必ず電源を切る（落下・感電・火災の原因）

1 取付前の確認

・この照明器具はラインタイプのシステム天井専用です。

- (1) 納入仕様書記載の、適合Tバー寸法・Tバー芯間隔・天井材の板厚が、現地のTバー寸法・Tバー芯間隔と合っていることを確認する。



⚠ 注意

適合Tバー寸法・Tバー芯間隔・天井材の板厚が納入仕様書記載の条件と同じであることを確認する（間隔が広すぎると落下の原因）

- (2) 納入仕様書記載の器具質量（器具本体+Tバー取付金具）、ライトユニット質量、及びライトユニットの引き下げ力（60N）の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

・ライトユニットの質量は、適合品の納入仕様書を参照ください。

⚠ 警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 取付前の準備

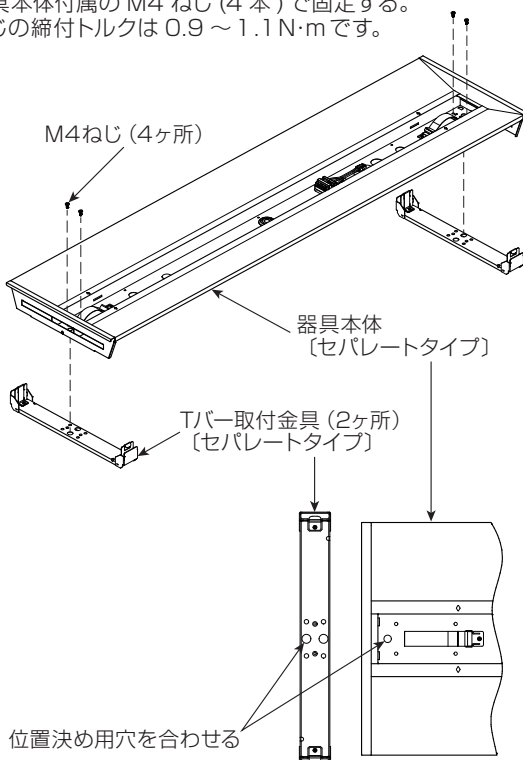
お願い

セパレートタイプの器具本体やTバー取付金具をお買い上げの場合、必ず器具本体とTバー取付金具を組み立ててご使用ください。単体でのご使用はできません。

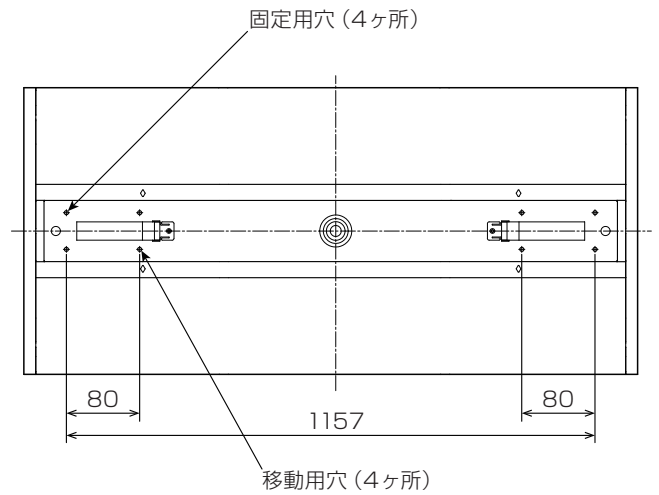
⚠ 警告

器具本体（セパレートタイプ）・Tバー取付金具（セパレートタイプ）は確実に組み立てて使用する（落下の原因）

- (1) 器具本体の位置決め用穴とTバー取付金具の位置決め用穴を合わせ、器具本体付属のM4 ねじ（4本）で固定する。ねじの締付トルクは0.9～1.1 N・mです。

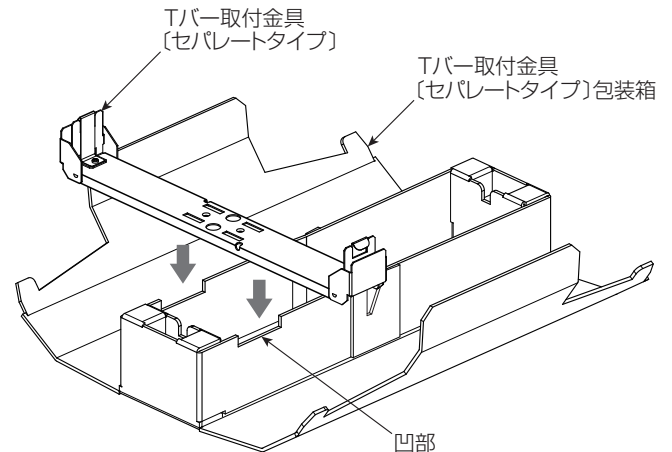


【Tバー取付金具取付用穴位置】

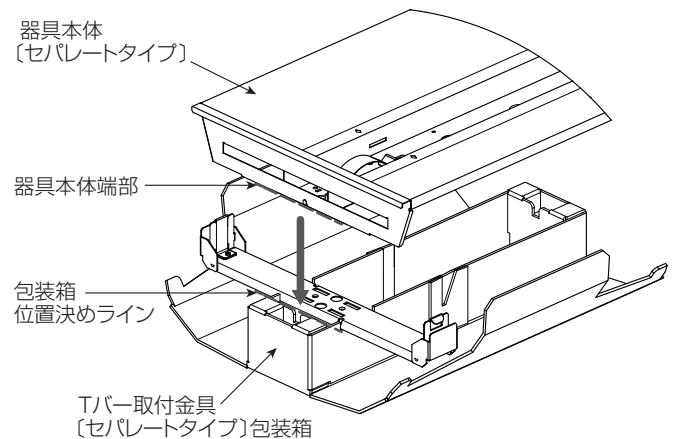


Tバー取付金具（セパレートタイプ）の箱を使って位置決めすることができます。

- (1) Tバー取付金具（セパレートタイプ）と箱のセンターを合わせて包装箱の凹部にセットする。



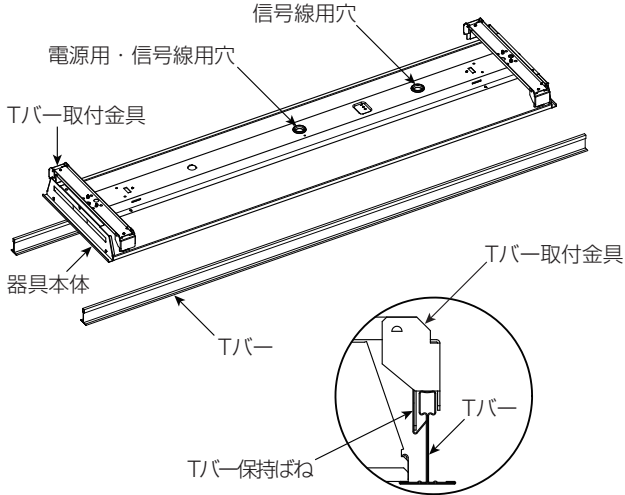
- (2) 包装箱位置決めラインを目安に、器具本体（セパレートタイプ）の端部を合わせて本体をセットする。



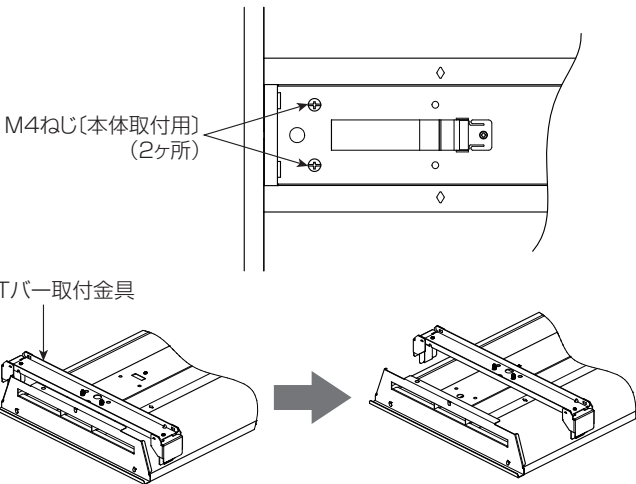
・落下防止ワイヤ（オプション）を使用する場合は、落下防止ワイヤに同梱されている据付工事説明書をご参照ください。

3 器具本体を取付ける

- (1) 器具本体の電源用穴に電源線・アース線を引き込む。
- (2) 照明器具をTバーに確実に落とし込む。
 - ① Tバー取付金具のTバー保持ばねが下図の位置にあることを確認する。位置がずれているとTバーにTバー保持ばねが引掛かりません。
 - ② 器具を押し上げて、TバーにTバー保持ばねが確実にセットされたことを確認する。



- (3) Tバー取付金具が、Tバー連結部材等に干渉する場合は、器具を天井から下ろして、M4ねじ〔本体取付用〕(2ヶ所)を外し、Tバー取付金具を移動する。ねじの締付トルクは0.9～1.1N・mです。

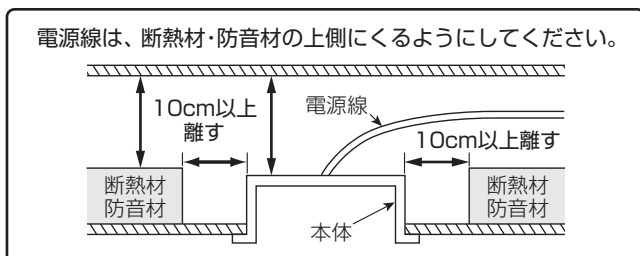


警告

- ・取付けが不完全な場合落下の原因
- ・断熱施工天井に取付けない (火災の原因)



断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。



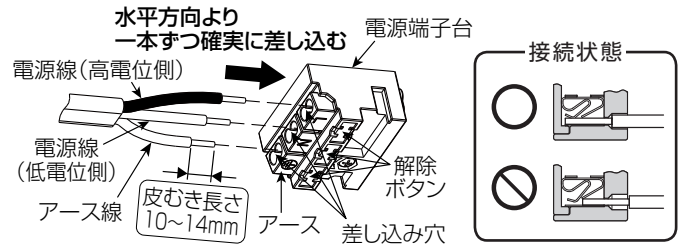
4 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- (1) アース線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。
 - ・D種(第3種)接地工事が必要です。
 - ・適合引込み電源線：φ1.6mmVVF単線 または φ2.0mmVVF単線
 - ・電源線を電源端子台から取外すときは、幅6mmのマイナスドライバーで、解除ボタンをまっすぐに押す。
 - ・電源端子台の送り総容量はライトユニットの明るさタイプで異なります。(下表参照)

明るさタイプ	送り総容量
6900lmタイプ	12A
5200lmタイプ	14A
4000lmタイプ	16A
3200lmタイプ以下	20A

警告

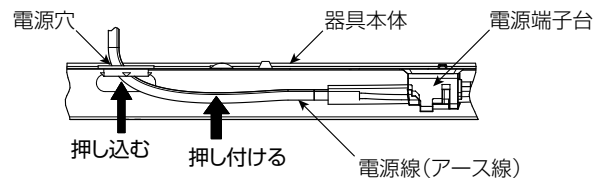
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
(アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因)



警告

- ・電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにむき、1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)
- ・送り配線は照明器具専用回路とし、電源端子台の送り総容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因)

- (2) 電源線・アース線の接続後、余分な電源線はライトユニットとの当たりを防ぐため、電源穴に押し込むか電源線を器具本体に押し付ける。

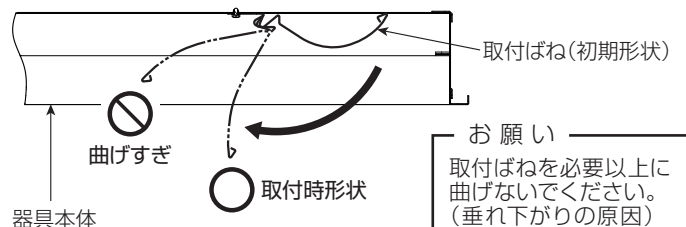
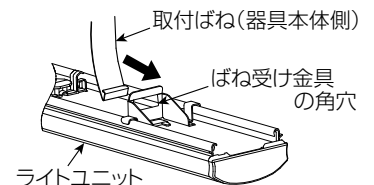


5 ライトユニットを器具本体に取付ける

- (1) 器具本体側にライトユニットを仮取付ける。
 - ・器具本体の取付ばねを下に曲げて、ライトユニット両側のばね受け金具の角穴に入れる。

注意

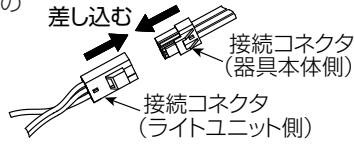
取付ばねの片側のみ、ばね受け金具の角穴に入れた状態で保持しない (落下の原因)



お願い
取付ばねを必要以上に曲げないでください。
(垂れ下がり原因)

(2) 器具本体側とライトユニット側の接続コネクタを接続する。

お願い
接続時にライトユニットに、過度な荷重をかけないでください。(破損の原因)



(3) 信号線を信号線端子台の差し込み穴に水平方向より一本ずつ確実に差し込む。(連続調光形の調光機能を使用する場合のみ)

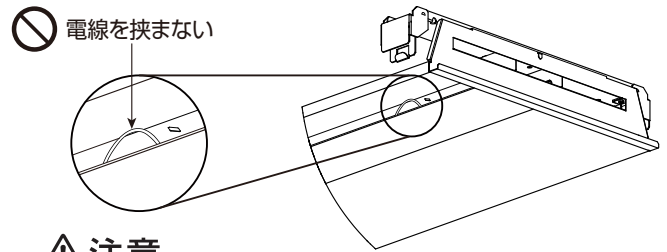
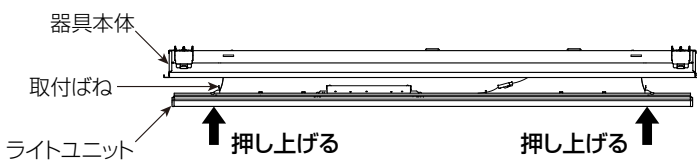
- 適合引込み信号線
 - : ϕ 0.9 mm FCPEV-1P 単線
 - または : ϕ 1.2 mm FCPEV-1P 単線
 接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。
- 初期照度補正機能付器具の場合、調光信号が入力されると、初期照度補正は解除されますが、連続点灯時間はカウントし続けます。
- 信号線を信号線端子台から取り外すときは、解除ボタンを押す。

(4) 信号線をライトユニットに固定する。

- 引き込み線の場合
信号線をクリップ(下)に挿入し、余分な信号線はライトユニットとの当たりを防ぐため、信号線用穴に押し込む。
-

- 送り配線の場合
信号線をクリップ(上)に挿入する。
-

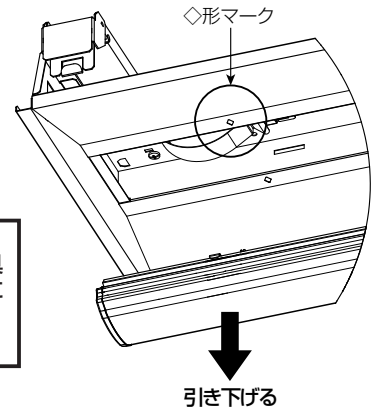
(5) ライトユニットのばね受け金具近傍を持ち、電線を挟まないように器具本体側へ押し上げてライトユニットを取付ける。



注意
押し上げ時に器具本体とライトユニット間に指を入れない(けがの原因)

6 ライトユニットの取外しかた

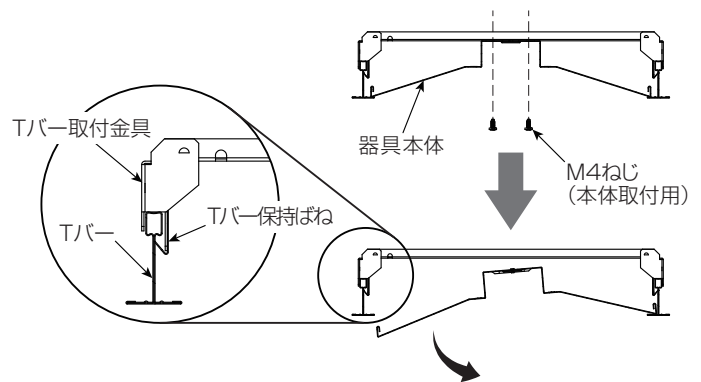
- 器具本体の◇形マークを目印に、ライトユニット側面部を持ち、両手で水平に引き下げる。
- 5の逆の手順で、ライトユニットを取外す。



注意
点灯中及び消灯直後の器具本体及びライトユニットに触らない(高温のためやけどの原因)

7 器具の取外し方法

- 6の手順に従い、ライトユニットを取外す。
- M4ねじ(本体取付用)を外す。
- 器具本体を片側に寄せて天井から下ろす。
- TバーからTバー保持ばねを解除して、Tバー取付金具を取外す。



据付工事後の確認

- 据付工事が完了しましたら、右表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)

チェック内容	チェック欄
電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込んでいますか。	
器具本体とライトユニットのコネクタを接続していますか。	
器具本体とライトユニットが確実に取付いていますか。	
Tバー保持ばねが確実にTバーにセットされていますか。	

試運転

- お客様立ち会いで試運転を行ってください。スイッチ ON.OFF などの運転手順、安全を確保するための正しい使い方についてお客様に説明してください。

お客様への説明

- 取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- 物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー・ゼネコン)や管理人などに説明してください。

お客様へ

以下の使用方法・お願い等をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。



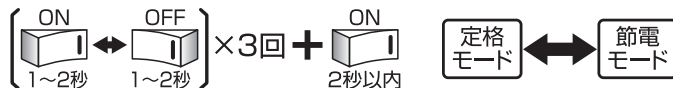
警告

お客様自身で電気工事をしない(感電・火災の原因)
電気工事士の資格が必要です。

使用方法

<定格・節電モードの切替>

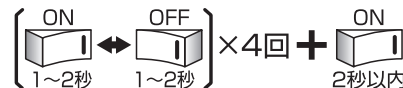
- 壁スイッチ操作により、点灯モード(定格モード・節電モード)の切替が可能です。
- 出荷時は定格モードに設定されています。
- 消灯しても消灯前の点灯モードで記憶しています。



- 定格モード切替 : 約 5 秒の間に明るさが 1 回変化します。
- 節電モード切替(約70%) : 約 5 秒の間に明るさが 2 回変化します。

<リセット操作>

- 器具間の点灯モードが揃わない場合、壁スイッチ操作により定格モードリセットを実施してください。
- ※いずれの点灯モードからも定格モードへリセットされます。



- 明るさが 1 回変化すればリセット完了となります。

お願い

- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
- 器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せると、ちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。
- 防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
- 電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。
- 無線調光ユニットを取付けて使用する場合、専用コントローラとの組合せで使用してください。専用コントローラが設置されていないまたは、電源がOFFの場合には、照明器具の電源投入から点灯までの時間が遅くなります。(約5秒程度)コントローラの電源がONになっていることを確認してください。
- LED光源の交換はできません。交換の際はライトユニットごとと交換してください。

お手入れ

<器具>

- 器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないととも、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<カバー>

- カバーはキズがつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

お知らせ

- LED素子にはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも、発光色・明るさが異なる場合があります。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
- 虫の飛来が多い場所で使用される場合、ライトユニット内に虫が侵入する恐れがあります。このような場合は、虫が入りにくい防雨・防湿形器具などをおすすめします。
- 商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- 電源事情の悪い場所では、LEDがちらつく場合があります。
- バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
- 誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHzの誘導無線(同時通訳システム)及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

故障かな?と思ったら

- Q "ピシッピシッ" という音がする。
A 温度変化で部品などが膨張・収縮してこすれる音です。
- Q テレビ・ラジオ・マイクなどが誤作動する。雑音が入る。
A 照明器具から離してご使用ください。赤外線リモコン式の機器や無線機器は雑音が入り正常に動かない場合があります。

保証とアフターサービス

- 無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。
 - 無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。
- ※保証とアフターサービスは、器具本体とライトユニットに適用されます。保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

仕様

- 電源周波数50Hz/60Hz共用形です。
- ライトユニットに同梱の取扱説明書を参照してください。

異常時の処置



警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る(感電・火災の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先に相談する

取扱い・修理のご相談は、まず
お買い上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

お買い上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。FAX (0467) 46-8861

ご相談窓口 照明技術相談センター

フリーダイヤル 0120-348-027 (無料)

受付時間 9時～17時(土・日・祝日は除く)

この説明書は、再生紙を使用しています。